100億宣言

須藤工業株式会社（製造業）



金町浄水場浄水高度化工事

〇本社所在地：神奈川県横浜市鶴見区
〇事業概要：特定建設業として、鋼構造物工事業・水道施設等の工事請負
〇常時使用する従業員：47名
（2026年10月時点）
〇現在の売上高：19億円
（2026年7月期）
〇法人番号： 8020001073341
〇Web： https://www.sudoh.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
山田 正樹

限りある水と社会を繋ぎ持続可能な未来に貢献します

当社は1961年に創業以来、人々の営みに欠かせない水をお届けする為に、水道用鋼管や水管橋などを設計から製造、施工までを一貫で行い、横浜市、川崎市、東京都を中心に水道インフラ整備の一翼を担ってきました。　現在の日本では、気候変動による自然災害の増加やインフラ老朽化、少子化等に起因する社会資本整備の課題が山積しております。安全な水の安定供給を維持する為、私達は耐震化や老朽化に伴う更新・維持補修工事を行い、環境に配慮した地産地消の再生可能エネルギーとなる水力発電用水圧鉄管の製造等、これからも社会インフラに必要なモノ作り力と施工力で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は単独で2034年に、売上高100億円を達成します。
1. 鋼構造物売上高を10億円に引き上げる。
2. 水道工事売上高を30億円に引き上げる。
3. 土木工事売上高を60億円に引き上げる。

課題

1. 大型化していく工事に必要な資金の確保。
2. 高度化する工事内容に対する技術者教育。
3. 都市化した工事環境で住民対話力の向上。
4. 人口密集地での工事の安全と品質の確保。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

1. 工場生産ネックである溶接工程の生産効率を向上させる。
2. 工事は、土木の施工体制と技術支援体制を強化し、都心エリアでの大型鋼構造物工事を積極的に受注する。
また、協力業者と連携することで人手不足を解消する。
3. 安定的な成長を持続させるために、従業員の中途採用と中途採用者の教育訓練を強化し、2028年に50人、2033年に58人へ社員を増員する。

実施体制

1. 工場生産効率の向上を1.5倍見込み、自動切断機の導入とサブマージアーク溶接機の大改造を行う。鋼構造物の工場売上高を外注と合わせて10億円に引き上げる。
2. 溶接工事の生産性は2倍を見込み、自動溶接機を導入し、同時に溶接工事の外注化を内製化する。鋼構造物の工事売上高を現在の年間12億円から30億円に引き上げる。
3. 土木工事を本業とする協力企業と連携し、同工事を本格的に手掛け、年間売上高60億円を達成する。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

須藤工業株式会社（製造業）

（売上高100億円実現に向けた具体的措置）

